

あったかい言葉かけ運動

11月下旬に「あったかい言葉かけ運動」の第2弾を行いました。読んでいただけで、本当に心があったかくなるような素敵なエピソードばかりです。その一部を紹介します。



- 夜遅くまで、私が勉強している時、母が「おやすみ、勉強頑張っね」と言ってくれます。いつも一人で勉強しているため、孤独を感じやすい受験勉強ですが、その言葉は、「家族に支えられて受験勉強をしているんだ。」と、私を安心させてくれます。何気ない一言だと思いますが、その言葉は私にとって、とても大切な言葉です。(3年女子)
- 私の周りには、いつでも優しく話を聞いてくれる友達があります。「受験生」という初めての経験をしていて、不安でいっぱいになる日もありますが、そんな時、友達は「絶対大丈夫、お互い頑張ろうね。」と毎回言ってくれます。今までも、そして、これからも、この言葉に救われるのだろうかと思うと同時に、合格して来春を一緒に笑顔で迎えられるように「今、頑張らないと」と勇気を与えてもらっています。本当にありがとう。(3年女子)
- 今年度から新生関ヶ原中学校に統合して、不安なことがたくさんあったけれど、クラスの仲間や多くの先生達が支えてくれたおかげで、中学校最後の1年間をとても有意義に過ごすことができています。勉強や生活で困ったこともあったけれど、クラスの皆が優しく教えてくれたので、とてもうれしかったです。僕が元気がないときには、先生がおもしろいことを言って笑わせてくれたので、本当に元気になれたこともあります。中学校最後の年に、新生関ヶ原中学校に統合して本当によかったと思います。みんなありがとう。(3年男子)
- 数学で考え方をペアで交流するときに、一緒に交流していた仲間が、私が話している時に、うなずいたり「うんうん」と言いながら話を聞いたりしてくれました。また、自分が話す時には指でノートを指し示しながら説明をしてくれました。その姿から、「話す人が話しやすいように聞こう」、「話す人への思いやりの気持ちをもって聞こう」や「相手が理解しやすいようにしよう」という思いが伝わってきました。相手に対してすごく優しいと思いました。私も見習っていきたいです。(2年女子)